

211985

昭和25年9月12日

上諭

朕祖宗ノ遺烈ヲ承ケ萬世一系ノ帝位ヲ繼キ朕カ親
愛スル所ノ臣民ハ即チ朕カ祖宗ノ惠撫慈養シタ
ヒシ所ノ臣民ナルヲ念ヒ其ノ康福安寧ヲ保護シ其
ノ德性智能ヲ發達セシムコトヲ願ヒ又宇内變遷
ノ世運ニ當リ往古来今ノ大局ヲ察シ我カ臣民ト俱
ニ文明ノ針路ニ進行セムコトヲ望ミ從テ代議ノ府
ヲ設ケ臣民ニ諮詢スルノ必要ヲ認メ乃明治十四年
十月十四日ノ詔命ヲ履踐シ茲ニ國ノ大典ヲ宣布シ



朕カ俯就率由スル所ヲ示シ朕カ後嗣及臣民及臣民ノ子孫タル者ヲシテ徳ラス遺レズ永遠ニ循守スル所ヲ知ラシム

國家統治ノ大權ハ朕カ之ヲ祖宗ニ承ケテ之ヲ子孫ニ傳フル所ナリ朕及朕カ子孫ハ將來此ノ憲法ノ條章ニ循ヒ之ヲ施行シ及施行セシメムトス

朕ハ我カ臣民ノ身體財産ノ安全ニ向テ國家ノ安寧及公益ノ為又ハ戰機時變ノ為ノ必要ナル制限ヲ除クノ外ハ之ヲ貴重シ之ヲ保護シ又法律ノ範圍内ニ於テ臣民ノ公權及私權ノ享有ヲ完全ナラシメ及其

ノ幸福ヲ増進セシメムコトヲ期ス

帝國議會ハ二十三年ノ冬期ヲ以テ之ヲ召集シ議會開會ノ時ヲ以テ此ノ憲法ヲ實施シテ有効ナラシムルノ期トナスヘシ

將來若シ此ノ憲法ノ或ル條章ヲ改正スルノ必要ナル事宜ヲ見ルニ至ラハ朕及朕カ繼統ノ子孫ヨリ發議ノ權ヲ執リ之ヲ議會ニ付シ議會ハ此ノ憲法ニ定メタル要件ニ依リ之ヲ議決スルノ外朕カ子孫及臣民ハ敢テ容易ニ紛更ヲ試ルコトヲ得サルヘシ朕ハ國家ノ隆盛ト臣民ノ幸福トヲ以テ朕カ中心ノ

欣榮トナシ上ハ祖宗ニ對シ謹テ盟誓ヲ宣ヘ下ハ朕
カ現在及將來ノ忠實ナル臣民ノ為ニ不磨ノ寶典ヲ
宣布ス朕カ在廷ノ大臣ハ朕カ為ニ此ノ憲法ヲ施行
スルノ責ニ任スヘク朕カ現在及將來ノ臣民ハ此ノ
憲法ニ對シ永遠ニ從順ノ義務ヲ負フヘシ
惟フニ我カ祖我カ宗及我カ臣民ノ祖先ハ相與ニ心
ヲ協ヘカヲ合セテ我カ帝國ヲ肇造シ以テ今日ニ
至リ國ノ光榮ハ恒久ニ失墜アルコトナシ此レ乃獨
我カ國體ノ美ナルニ由ルノミナラス又我カ臣民ノ
賦性醇厚ニシテ國ヲ愛スルニ專ニ私ヲ棄テ公ニ殉

ヒ合同一致ノカ以テ此ノ光輝アル史乘ノ事跡ヲ現
在ニ貽シタルナリ朕ハ朕カ臣民ハ即チ祖宗ノ忠實
勇武ナル臣民ノ子孫ナルヲ回想シ其ノ朕カ意ヲ奉
體シ朕カ事ヲ獎順シ相與ニ和衷叶同ノ方嚮ヲ取り
文明安富ノ軌道ニ就キ相議シ相謀テ益我カ帝國ノ
昌榮ヲ中外ニ宣揚シ祖宗ノ遺業ヲ無窮ノ久シキ
ニ鞏固隆盛ナラシムルノ希望ヲ同クスルコトヲ疑
ハサルナリ

抄
門
現在...
筆由...
...

伊藤博文

